

国際委員会

委員長：吉村浩太郎

担当理事：水野 博司

委員：今井 啓介、清川 兼輔、河野太郎、中塚 貴志

開催年月日：①2018年4月11日、②2018年10月18日、適宜 e-mail 委員会

主な議題：1. アメリカ形成外科学会(ASPS)関連 (MOU 関連)

2. 韓国形成外科学会関連 (MOU 関連)

3. ICOPLAST (新国際形成外科学会) 関連 (Award や地域学会)

4. 台湾形成外科学会関連 (MOU 締結)

5. JPSHS について

6. 2019年札幌学術集会英語プログラムについて

7. 関連学会 (ISAPS、JSAPS、日韓形成外科など) について

活動の概要：

1. ASPS より日本語の Facebook 開設や PSEN 内への教育用コンテンツの供給についての紹介、協力依頼があり、協議、周知した。ASPS より、Plastic Surgery The Meeting 2018 (PSTM2018、シカゴ：9月28日～10月2日) に関して、参加費の割引、ASPS レジデント会員や ASPS レジデントトライアル、さらに PSF のグラントなどの案内をいただき、会員に周知した。PSTM2018 において、ICOPLAST の代表会議 (出席：中塚貴志理事)、Global Leadership Forum (出席：中塚貴志、吉村浩太郎)、日米 Leadership Meeting (出席：中塚貴志、水野博司、吉村浩太郎)、PRS, PRSGO の編集会議 (出席：吉村浩太郎) が行われた。MOU に基づき、昨年と同様に、JSPRS の 2019 年学術集会に、PSF の理事長が招待された (ASPS の理事長は都合がつかず欠席)。PSTM2019 の Maliniac Lecturer の推薦についての照会を受け、理事会に依頼した。
2. 第 52 回韓国形成外科学会 (ソウル、2018 年 11 月 9-11 日) に、今年の MOU に基づき JSPRS から 4 名の招待者を推薦することになり、中塚貴志理事長のほか、清川兼輔先生、山本有平先生 (辞退され、大浦紀彦先生と交代)、四ツ柳高敏先生 (TSPS への公募推薦枠で選出)、河野太郎先生を推薦した。ほかに日本から吉村浩太郎ほか数名の招待者が口演を行った。JSPRS の 2019 年学術集会には、韓国 KSPRS の現理事長 (Kim, Kwang Seog) と現会長 (Bae, Yong Chan) が招待され、ほかにも 3 名の韓国形成外科医が招待されている。
3. ICOPLAST の理事長は、2019 年 1 月より、カナダの Howard M Clarke からオーストラリア代表理事の Rodney Cooter に交代した。理事会は現在、毎月 1 回 Web meeting の形で行われており、中塚貴志 ICOPLAST 理事が参加している。教育委員会や Web 委員会、人道支援委員会などを立ち上げ、各国から委員長や委員が選任され活動を本格化しつつある。

ICOPLAST はこれまでのところは、世界各地域形成外科学会の regional meeting に joint する形で、symposium を開催している。昨年は、韓国形成外科学会 (PRS Korea2018) において、11 月 9 日全日に joint symposium を企画し好評を得た。アジア地区では初の開催で、2019 年は 4 月末にベルギー形成外科学会中に理事会 (中塚貴志 web 参加)、参加国支部会 (吉村浩太郎 web 参加) や symposium 開催を企画している。

昨年 ICOPLAST award of excellence の選出があり、日形会から推薦した石浦良平先生(三重大)が受賞(賞金 500 ユーロ)した。

現在日本からは、理事兼 National Delegate として中塚貴志先生が、Alternate(代理)として、清川兼輔先生が登録されている。中塚貴志 ICOPLAST 理事の任期は今年 12 月までであり、会議や委員会はすべて英語であり、それらを考慮して新たな人選を行う必要がある。

問題点として、本学会は現時点では Web seminar などを主体とした会員間のコミュニケーションに力を入れていこうとしており、独自の国際学会を開催することは考えていない。参加国年会費は、専門医(1人 10 ユーロ)数に応じて定められており、日形会は約 300 万円強を支払っている。

4. 台湾形成外科学会(TSPS)の年次総会(台北、2018年11月29日~12月1日)で、MOUを締結した(参加:中塚貴志、水野博司、吉村浩太郎)。また、TSPSからの依頼を受けたJSPRSからの推薦演者として、医育機関施設長に招待演者候補者の推薦の依頼を行い、森本尚樹先生、渡辺頼勝先生、今井啓道先生、市川佑一先生の4名を推薦した。JSPRSの2019年学術集会には、現理事長(Shyi-Gen Chen)ほか2名が招待されている。
5. 機関誌JPSHSについて、JSPRSの3年契約(年間600万円の負担)が2019年末で切れることから、2020年以降の契約をしないことを提案し、理事会で延長しないことが決議された。
6. JSPRSの2019年学術集会の英語プログラム(PRS HOKKAIDO)について、山本有平会長からの委託を受けて、来日してもらえる外国人Facultyの推薦、募集を行い、結果的に31名が承諾した。Faculty講演(3Keynote講演を含む)とともに、一般演題55演題、1海外企業ランチョンセミナーを含めて、3日間の英語プログラムを作成した。
7. その他、学会HPなどを通じて関連国際会議開催や、臀部脂肪移植、BIA-ALCLなどに関する注意喚起の情報伝達を行った。